小玉有起

Kodamarwa Comics

7

この先は南魔界…

ディメイション街道に通じている…

ブラッドラッド

…じゃあそこからまた飛脚に乗って東まで行くんですね…

いいや

ただ待ってるなんてヒーローじゃねえ

直接ブチかましに行くんだよ

これから俺達が向かうのは…

兄貴のところ殿堂魔界だ……！

ブラッドラッド

第31話♠一滴と大量の粉

小玉有起（コダマユウキ）

CONTENTS

第31話♠一滴と大量の粉…001
第32話♠リーダーはリーダーする…039
第33話♠やっぱり入ってた…073
第34話♠上陸、ことわざ博士…107
第35話♠緊急招集殿堂魔界…141

ガシャ
誘拐犯確認（ターゲットかくにん）

オオオオオオ
さぁ…皆の者（もの）…
ついにこの時（とき）がきたのであるぞ…!!

ガン
バタン

バカな…

オオオオオオ
二人（ふたり）を逃（に）がした…!?

我輩達…
チームフィアレスが

真のヴァンパイア
ハンターとなる時が!!

…確かに
ヴァンパイアハンター
とか言いつつ我々
一回もヴァンパイアを
殺った事なんて
ないでござるしな…

殺った事ないのに
それを売り文句に
してたアル？
私達のリーダー
詐欺師だたか？

……ん？

ねー今
何の話してる
の？

リーダーが
実は詐欺師
だた話アル

……

チームフィアレス
古株：サム

チームフィアレス
紅一点：ジャスミン

チームフィアレス
頭脳：ロイ

チームフィアレス
力持ち：ランド

BAD!!
ヴァンパイアハンター
という通り名は

我輩達強すぎて
向かう所敵無しじゃね？
ヴァンパイアとかだって
殺せんじゃね？ という
ポジティブでアッパーな
意味合いでつけられた
ものなのである！

スゥ

チームフィアレス
リーダー：シャムキッド様

…まぁ本当に
ヴァンパイアを
殺ってたら殿堂で
王になれるクラス
でござるしな…

わぁ そりゃ無理
アル……ウソでも
しょがないね……

だが
しかあし!!

今回の
依頼はその
ヴァンパイア!!

混じりっ気無し！
正真正銘の純血統が
ターゲットだ!!

ガサ

という事は!?

ガサ

絶対勝てないアル

BAD!!

これは
チャンス!!

我々が本当に
ヴァンパイアをハント
出来るという事を
世に見せつけてやれる
絶好の機会なのである!!

さぁ行け!!
皆の者!!

ヴァンパイアハンターの
名に偽りが無い事を
証明してやるのだ!!

それはそうとサム
上等な腕時計
してるアルな

ム…気づかれて
しまったか

オメガの
スピードマスター
でござる

ねむい

高かたアル?

まぁそれは…
しかし拙者
良い物には金を
惜しまぬタチで
ござって

これなんかも

ねーちょっと
寝てくるから

何かあったら
起こしてね
リーダー

うわー!!
もうお前等なんて
知らねーよー!!

いいよもう我輩
一人でやっから!!
全部我輩一人の
手柄にすっから!!

ダッ

バタン

覚えて
やがれ!!

……

やれやれ…

毎度毎度
こうしてリーダーを
偵察に差し向けるのも
一苦労でござるな

しかたないアル

今の段階で
シャムに仕切らせると
ロクな事ならないヨ

そう 仕切ってもらうには
まずターゲットに
アレをしてきて
もらわないとね…

本人は
「できればやりたくない」
って常日頃から
ボヤいてるけど…
しかたないよね…

ところでこの
ネームプレート
もう取って
いいかな?

ナオミ

なんだよ
なんだよ皆して……
我輩リーダーだぞ!?

パク
パク

このネームプレートだって
皆の事覚えてもらおうと
昨日寝ないで一人で
作ったのに…!
あいつ等ときたらぁ~!!

クルリン

わかっている…!
あいつ等が
言う事を聞くのは
我輩があの能力を
発動させた時
だけなのだ…

BAD…
やりたくねぇ…

ス…
ス…

やらない方向で
いきたい…

しかし今回の
ターゲットは
ヴァンパイア

モサ
モサ

手を抜く訳には
いかんしな…

ここは一つ
慎重に様子を
見てからと
いう事に
しよう…

テス
テス

タッ

シュ

ぶっはっはっはっは!!

似合う!
すげー似合うよ!

アッハッハッハッ
そのグラサン!

……

あの…そろそろ
私で遊ぶの
やめてもらって
いいですか…

ま 待て…
ピストル買って
やるよピストル

ヒー

ウケすぎ
ですから

もう…
人のナワバリだから
目立たない格好するん
じゃなかったんですか?

魔界で紛れるには
お前ワイルドさが
足りねーんだよ

ほらこれ
構えてみろ

こ これ最後
ですからね

アッハッハッ
ハッハッ

だから
ウケすぎ
ですって!

…これ弾入って
ませんよね?
大丈夫ですよね?

あたりめーだろ

オモチャだよ
そんなん

ああ
これか?

それ何してるん
ですか?

今後 俺が目を
離した隙にまた
お前が何処かへ
行かないよう
こういう風に…

ジュル

え ちょっ

な?

な?
じゃないですよ…
私これから
どこかに売られる
みたいじゃないですか…

安心しろよ
大金積まれても
売らねぇから

…いやそういう
問題じゃなくて
…って痛っ
痛たた

これ引っぱられると
締まるタイプの結び
方なんですけど…!

何だよ人の事チラチラ見てモジモジしやがって
豆キライか？
いっいえそんな…違くて

うげえ缶詰の豆なんて食べてる
我輩あれ大の苦手

あんなマズイ物を女の子に食べさせるとは…ヒドイ奴であるな
……
モジ…
モジ…

それみたことか
キライなのだ
スタズさん私…
ん

…こんな事言うの恥ずかしいんですけど
私…く……静になっちゃってるみたいで…
カチ…カチ…
豆が？
違います

俺連が今居るのがこの辺だから…
ちょーど北東にアッ飛んできゃいい感じっぽいが…
痛くない結び出来たか？
多分これで大丈夫です
んで

よーしじゃあお前にも豆を食わしてやろう
ガキガキ
……

目標発見
ほらよ
あ…ありがとうございます

ゴクッ

その……
とうしても
スタズさんの…
あれ…吸いたくなっちゃ
ダメだ

……
い…いいじゃないですかちょっとくらい
元からちょっとだろうが
くだらねー事言ってねえで豆食え

……
な…何だ何だっ
何だか怪しい雰囲気であるぞ…
可愛そうになあ…
おう
オメエ見かけねえ面だなヨソ者か？
い…いや我輩は…

まったく…ここは俺のサニーサイドスポットだぜ？
す…スマヌ知らなかったものでニ
まぁいいちょっとこいつを見ろよ
今日仕入れたばっかりの粉だ
上物だぜ
！…この香り…マタタビか!?
たまんねえだろ？ここで日向ぼっこしながらこいつをやるのさ…フフ最高にブッ飛べるぜ？
な…なんて悪い奴なんだ奴は…！

何を言ってやがる俺にはわかるぜ…この粉を見た時のあんたの目…
やった事あるんだろ？
ん…まぁ…我輩は…嗜む程度にだが…
ほうら見ろ
あの娘も同じさ…
一度知っちまった味をもう一度味わいたい…それなのに
ずっとおあずけをくらっちまってる…そんな目をしてた
だから俺は可愛そうに…と言ったのさ…
…BAD！

そうか…たからあの娘…
誘拐されたというのに
あの男に大人しく
従っているのだな…!!

むう…許せん…
何という冷酷な
男なのだ…

これはやはり
我輩の能力…
発動せざるを
得んようだな…!!

フフフ…案には
死なさんぞ…

じわじわと…
それはもう…

ゴロン
ゴロン

アレ? 何か我輩
楽しくなってきた
ウハッ
ウヘヘッ
ウヘヘヘヘヘヘ

さてと…

飯も食ったし
そろそろ
行くぞ

グイ…

ほれ
立て

あ…足が
動くて立てません

ウソつけ

……

…ウソ
でした…

お前な…

ス…

すいません
……

お前がそんだけ
欲しがるって事は
そろそろなんだろ…

今日は様子
見てどっか
宿るか…

いいか?

俺がお前に
給血をしてやれない
理由を今から
説明してやる

31

……まず

これが…

キュ キュ キュ

魔界初日のお前だ

100%

……

……あの いっぱいつっこみたい所あるんですけど…とりあえず

私魔界初日に100%って書いたTシャツ着てましたっけ

Tシャツじゃねぇよ

これは魔力100%って意味だ

幽霊の体で作り出せる限界いっぱいの魔力だな

俺達魔族は常に魔力を消費して生きている

んで減った分は魔界の空気中にある魔素を取り込んで自分の魔力に換える

要するに魔界の空気吸って普通に生活してりゃ常に魔力は100%って訳だ

しかし俺達は人間界に行っちまった事で魔素を吸収出来なくなった

99%

36%

動けば動いた分だけみるみる魔力が減っていき

1%

たーすーけーてー

ついには存在を維持出来なくなる訳だ

じゃあ人間界に居ると魔族は皆いつか消えちゃうんですね？

そういう事

だがお前の100%と俺の100%じゃ天と地ほどの差があるんだよ

お前なんてせいぜい魔力全回復薬飲んでもくらいしか回復しねぇだろうが俺はもう

+50

+25000

これくらいな訳よ

これを「魔力の器」と言う

この器は軽すぎても重すぎてもいけない

50

丁度いいサイズの器になみなみ魔力が入って100%だ

魔族は皆自分の度量に合った器を支えて生きていると覚えろ

こんな感じにな

人間界で俺は弱ってるお前に

俺の器とあかウ

250

50

あぁ

自分の器を1%分けてやった

これが間違いだった

ここで普通の魔族なら…

250

うっひょ――！生き返るぅー!!

110

ポイ

100

サンキュー

ガッ

ガッ

ってなるんだが

お前は…

50

ありがとうございますぅ

250

大事にしますぅ

え…

いや…

俺の一部ごと共存したいと言い出し

300

Help

重くて疲れるからドンドン魔力が浪費され

魔界に居るのにもかかわらず酷の中が空になりかけた

でパワーアップした俺がらまた分けてもらって

今のお前だ

次、給血をすれば更に話はでかくなる

その分浪費も加速して給血が必要なスパンが短くなる

……

そのうち一分と持たなくなるかもしれない

だからギリギリまで給血はしたくねぇんだよ

これまた俺の勝手のせいで悪いんだけどよ…

はい…でもあの…私…さっきからギリギリな気がするんですけど

……

バカじゃないですか私

300

Oh Hooo!

100%

自分のとくっつけてこれだ

その結果…

また お前は
ギリギリってのは 足とか
消え出してから
って
うわ――!!
消えてんじゃねーかよ!!
ガタッ
だ だから
言ったじゃ ないですか…
遅えーよ!!
何処かに 遅やかに
消えてってんだよ!!
ほ 本当はさっき
豆を食べてる時
から予感して
たんですけど…
お願いしようと
したら断られ
たんで…
バカヤロー!!
そういう時は
もっとそれっぽく
必死で
血い～ぐれ～
死ぬうう～～!!
くらいの感じで
ぶつかって来い
ってんだよ!!
生き返り
てえんだろ!?

ピタ…
突っ込まれると
思って口開けたろ…
今……
……あ…
言ったろ…
俺が生き返したい
からじゃなく
お前が生き返りたいと
望んだから
俺が生き返すんだって
カーッ
お前は
俺の無手に
付き合わされて
文句一つ言わねえし
自分の言いたい事
全部後回しに
しちまうけど
それじゃ
わかんねえんだよ

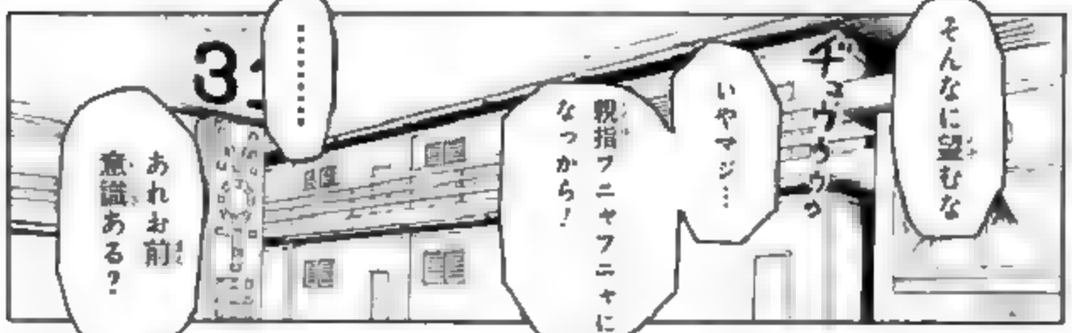
お前が
望んでる事は

馬鹿で鈍い俺にも
わかる形で示せ

今 給血を
望んだか？
望むなら

俺の指は
ここだ

…おい
……
ギュウウウウ
もういいだろ
わかったって
止まれ
伝わったから


3
そんなに望むな
ギュウウウウ
いやマジ…
親指フニャフニャになっから!
……
あれお前
意識ある?

…駄目だ
こいつ…

マシで中毒に
なってやがる…

カシュ!

まったく
あの時

我ながら迂闊な一言で
死線に
冬実から俺の血を
抜いてもらえば
良かったぜ

そうすりゃ
こんな事には
いや

あの変態野郎に
冬実を預けるとか
ありえねーな

ガビッ

かから
この口で確かめに
行くんた

あの野郎また
何かかんでる
みたいたからな

会ったらぜってぇ
顔面ブン殴ってやる

ガバッ

ハッ

我輩とした事が!
つい
時をマタに
かけてしまった…

ここは何処!?

BAD!
しかももう
こんな時間
ではないか!

彼奴等の
足取りも
掴んでおらん
というのに!

……

帰るか…

ロイ

今
シャムから電話
あったアルヨ

んー?

迷子になった
から迎えに来て
欲しいって?

カタ
カタ
カタ
カタ

当たりアル

だろうね…
いいよ丁度こっち
終ったトコだし

早かたアルね
ちょろいよ
寝ながらできた
ターゲットは東風界のボスでシャバニーズカルチャーが大好き とか
この辺サムと気が合いそうだよね…ま…殺すんだけど
そういえばサムとランドは何処行ったアルか
いやぁ太渕大漁
網まれた武器仕入れてきたでござる
ほら見て
拙者暫発して純銅の刀なんか買っちゃったでござるよ
いやぁ～
銀はヴァンパイアに有効らしいからいんしゃない？
私も銀の武器欲しいアル！
それで
オー
ターゲットの様子に何か変化あったでござるか

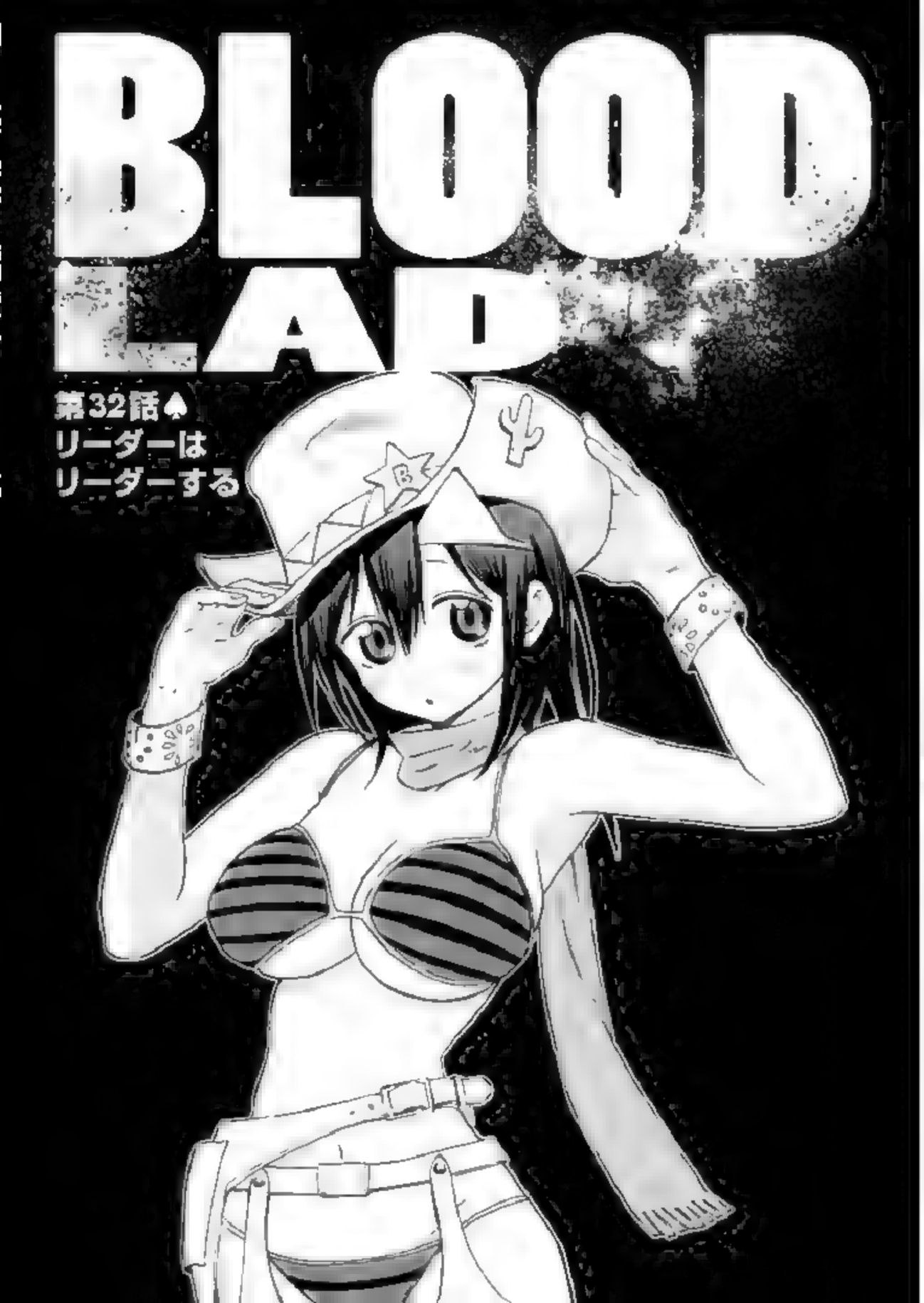
別に モーテルに入ったのが最後だね
寝込みを襲うって手もあるけど
それは僕的に幸せな死に方すぎるからヤダナ～～～
LIVE
あとリーダー不在で進めすぎても
あの人またヘソ曲げちゃうからね～

100%

オ
オ
ォ
オ
オ
やっぱりリーダー
居てこその
僕らチーム
だからね
おかえり
リーダー

BLOOD LAD

第32話♠ リーダーはリーダーする



聞け諸君!!
我輩は昨日単身
ターゲットへの
アタックをかけ

もうちょっとで
殺れそうな所まで
いったが
帰ってきたぞ!!

バン

え? 殺れそうなん
だったら殺っちゃえば
よかったんじゃないの?

そう思う
かもしれない
がBAD!!

我輩は
思い出したのだ

我々はチームなのだと!!

JEAM FEARLESS

チームで仕事を
引き受けたからには
チームで始末をしなければ
詐欺なんじゃないかと

我輩は詐欺師
ではない!!

したがって
この場に戻ってきた
のである!!

…まあ本当は
マタタビやって
ゴロゴロしてたら
殺っちゃって

ターゲットを
見失ったあげく
迷子になって
戻ってきたんだけどね!

ボン

え? ロイ
今何か
言った?

あれ 僕
また寝言
言ってた?

オホン

という事はリーダー
例のやつは
もうターゲットに
やってきたんで
ござるね?

そ…
それは…

実はまだ…

ござる
よね?

……

えっ
何? 何て
言ってるのそれ!?
我輩
わかんない

まあまあ

アレはこれから
やりに行くんで
ござるよね?

……も…

もちろんである

ふぁ〜

今日もいー天気だ

ドヨ
ドヨ

えーっとここからだとあっちの方角か

あ、そうだ行く前に市販の魔薬ドリンクでも買ってくか

FORE

濃度薄めかもだけど無いよかいいだろ

……

な？

あ…

はい

…そうですね

んじゃ行くか

お前
起きてから
俺と目合わそうと
しねぇな。

今度は
何だよ

だ…だって…

ショック

昨日の事とか
思いだしたら―その

は…
恥ずかしいって
言うか…
なんというか。

はあ？

もう…
気にしないで
下さい！

お前何
言ってんの？
恥ずかしい？

自分が欲してた
もんに食らいつく事の
どこが恥ずかしいんだよ

それが
生きるためなら
尚更だろ

……

そ…
それはそう
なんですけど

ちょっと自分でも…
大胆だった
かな…と

あぁ
まあ確かに
お前はビクリする
くらい吸ってたけども。
それとこれとは。

も…もう
いいじゃない
ですかこの話は…

あ！

かわいい～～～

ニャーン

ネコちゃんが居ますよ スタスさん

かっ

ほらあそこ

魔界にも ネコちゃんが 居るんですねえ！ ちょっと近くで…

うっ

やめとけ… 魔界の猫だぞ

不用意に 近づいて食われ たらどうする

そんな 大げさな…

BAD…

コヤツ…できるな 我輩の愛くるしい仕草を 見ても動じないとは

しかし我輩は その小娘のように 筋縄ではいかんぞ…!!

己の肌を捨て… プライドを 捨て…

チームのため…

ナァ～～ウ

ゴロゴロ

仕方で いかせて もらう…!!

あーほら ほら 人なつっこい ですよ

スタスさんに スリスリして

……

スリ スリ

んだよめんどくせえな…

って

何(なん)だコイツ!!

シュババ

シュバババババ

人なつっこいとかいう次元じゃねぇだろこれ!

ちちち

うおおっちょ…

くすぐってぇ

シュバババ

アハハ

アハハハハ

ピ

ヲ…

へ……

ジャク

ジャク

痛っ…

ってえなこのヤロー!!

ゴオッ

シュルッ

ツキシロオ
俺の前髪(まえがみ)が…

！

クルリン

ズ゛ゥ゛ン

え？

……

……

ね…ネコちゃんか…
あれ？

人になった…

ワーハッハッハッ

ケタケタケタ

馬鹿(ばか)め!!

分析(アナリスト)

まんまと
嵌められおったな

我輩(わがはい)は
猫(ねこ)ではない!!

シュルン

完了(グッド)

……

……

いや猫だったろ今

完全に

猫でしたよね…確かに

う…うるさい

あれは我輩の本当の姿ではないという意味だ!!

ナ〜〜〜ウとか言ってな

すごいゴロンゴロン甘えてきて

ええい黙れ黙れ!! 我輩は…

ウオエッ

ウッ

ちょっと待て毛か…口の中で気持ち悪っ ウエッ

…よくわかんねえけどだんだんイライラしてきたぜ

要するに何なんだよテメエ

じゃあ何で食ったんだよ……!

敵か?

だったら容赦しねえぜ

BAD…!!

いつか殺してやる奴が増えた…

それに引き換えチームは悠長に何をしておるのだ

あまりモタモタしていると我輩が…

ドォー

トン

なっ

人(ひとり)で…

殺(や)っちゃうぞ

ス…スタズさん
まだ何も答えて
ませんよ!?

……

当たらなければいいものも

こいつ…

避(よ)けやがった…

何処から来るかも…
俺がどんな攻撃を
するかも知らない
ハズなのに

それを全て
理解ってたような
かわし方を

何者(なにもの)だ…!?

BAD

敵って
言うのは…

ちょっとニュアンスが
違うと…

ゴクン

我輩(わがはい)は思(おも)う

そう…これは
一方的(いっぽうてき)な狩(ハン)り…

吸血鬼狩り(ヴァンパイアハント)である

ゴ

オ

オ

ボ

ボ

ボ

ユー
アンダスタン？

運かったじゃないか お前運!!

いやぁ 面目ない

サムがトイレ長かたアル

……

すませておけ!

何だこいつ等…

俺を殺りに来たのか…?

髪の毛ウマかたアルか

好きで食べてる訳ではない!!

まあまあ

チームって言ってたが…

何かきっそく俺達の事ほっといて口論してるし

めんどくせえから逃げるか

ほらお前運かくだらん無駄話をしてるから

逃げようとしてるではないか

……は?

何で…俺まだ…

フフッ

わかるのだよ

我が輩の能力は読取人……

対象者の一部が体内にある内は

その者の行動を先読みする事が出来るのだ…

ズ

ズ

そして僕の能力は…

モコ

モコ

えーと…こんなもんでいいかな？

それじゃあおやすみ

Zzz

ロイの能力は 脳内共有空間

我輩の先読みをメンバー同士で共有する事が出来るのだ

ポコン！

僕が寝てる間だけだけどね

どうだすごいだろう

リーダーここで言っても相手に聞こえてないよ

あっそうか

つまりどういう事かと言うと…

楽しそうだな

そういう事…

ガーン…

ゴゴゴ

で？ 他の奴の能力は？

うしろに飛ぶぞ

ドッゴ

ズ…

俺を殺せる能力か？

その通りアル

ギャ

面白ぇ…

ゴオオオオ

やれるもんなら

やってみろよ

うわあ……すごい魔力アル

でも隙だらけで
ござるな…フッ!

うっ

ドン

…何だあ?

吹き矢でござる

おい
おい…

まさか あ前等
こんなチンケな
攻撃はつかで俺を
殺せると思ってん
のか…?

なめてんじゃ
ねえぞ…

怒ったアルか

どうやら有効だった
ようでござるな

それじゃあ手筈通りの
フォーメーションで

何とか
言えよ…

このモブキャラ共がー

ドオオオ

!!

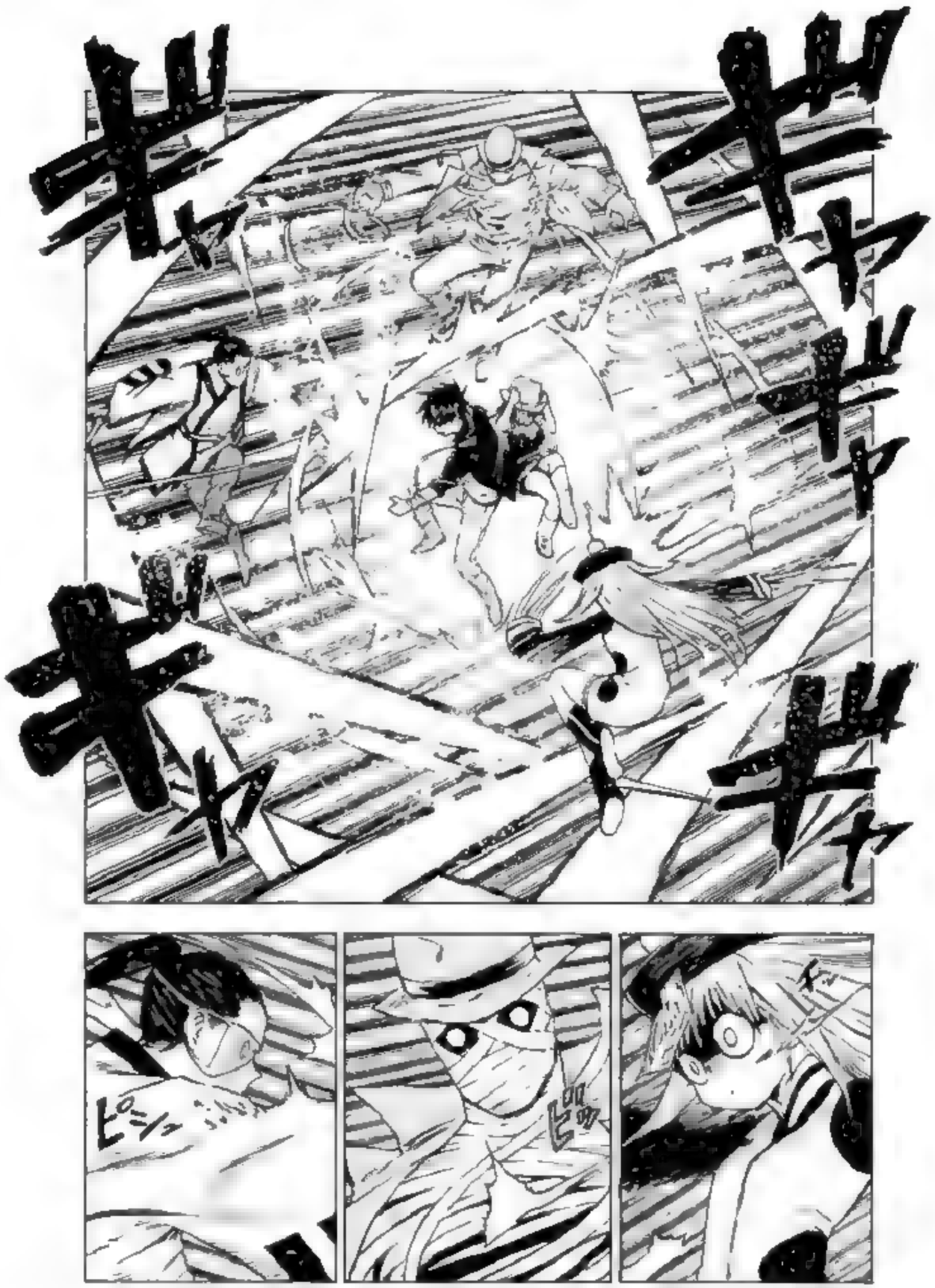
ゴゴゴ

俺の行動が
読めるだあ?

じゃあ全部
避けてみろよ!!

テメエ等の
攻撃なんか

どーせ俺には
効かねえんだ



ピシッ
ヒュッ

オラオラ
どうした
避けるのに精一杯で
ちっとも攻撃が俺まで
届いてねぇぞ!!

いや…

ビビッてねえで
もっと食らいついて
来て下さいよ!!
ジェットストリーム
アタック的なの
とかでよぉ!!

もういいで
ござる
フヨフヨ
あ?

何だよ最初から
最後まで歯ごたえの
ねぇ…

両手ですきたパスタ
みてぇな奴等だな

呆れた
まだ
気づいて
ナイヨ

いやぁ 被害
丁度こういう
帽子欲しいと
思ってたんで
ござるよね

チンガロン
ハットってやつ？

プラン

は？

じゃあ我々は
ひとまずこれで

あ…

おい

STOR

おい……

冬実…？

どこだ…!?

返事しろ!!

冬実!!

……

ん？

……
……これは…
痛っ……
ウソだろ…
ジクッ…
傷が……
傷が治らねぇ…

ヒロコン
とりあえずこれで第一段階クリアだね・
みんなおつかれ

パパのバカ!!
どうして二人を逃がしちゃったのよ!!

おいおい落ち着けよ
大丈夫だから…
ちゃんとパパはネインちゃんと話し合って決めたぞ
それがムカつくっつってんのよ!!
例でもがんでも二人で決めちゃってさー!!
こっちは全然大丈夫じゃないっつうの!!
もういいわよ!!
こんな家出てってやるから!!
おい…
まあまあ姉ちゃん…

ベル!!

ズズズ…

第33話♠
やっぱり入ってた

zzz…

上出来である

後は我輩とロイの能力が届く範囲をキープしつつ

奴をジワジワ追い詰めるだけだね

しかし
銀の武器は話通り
有効でござったな

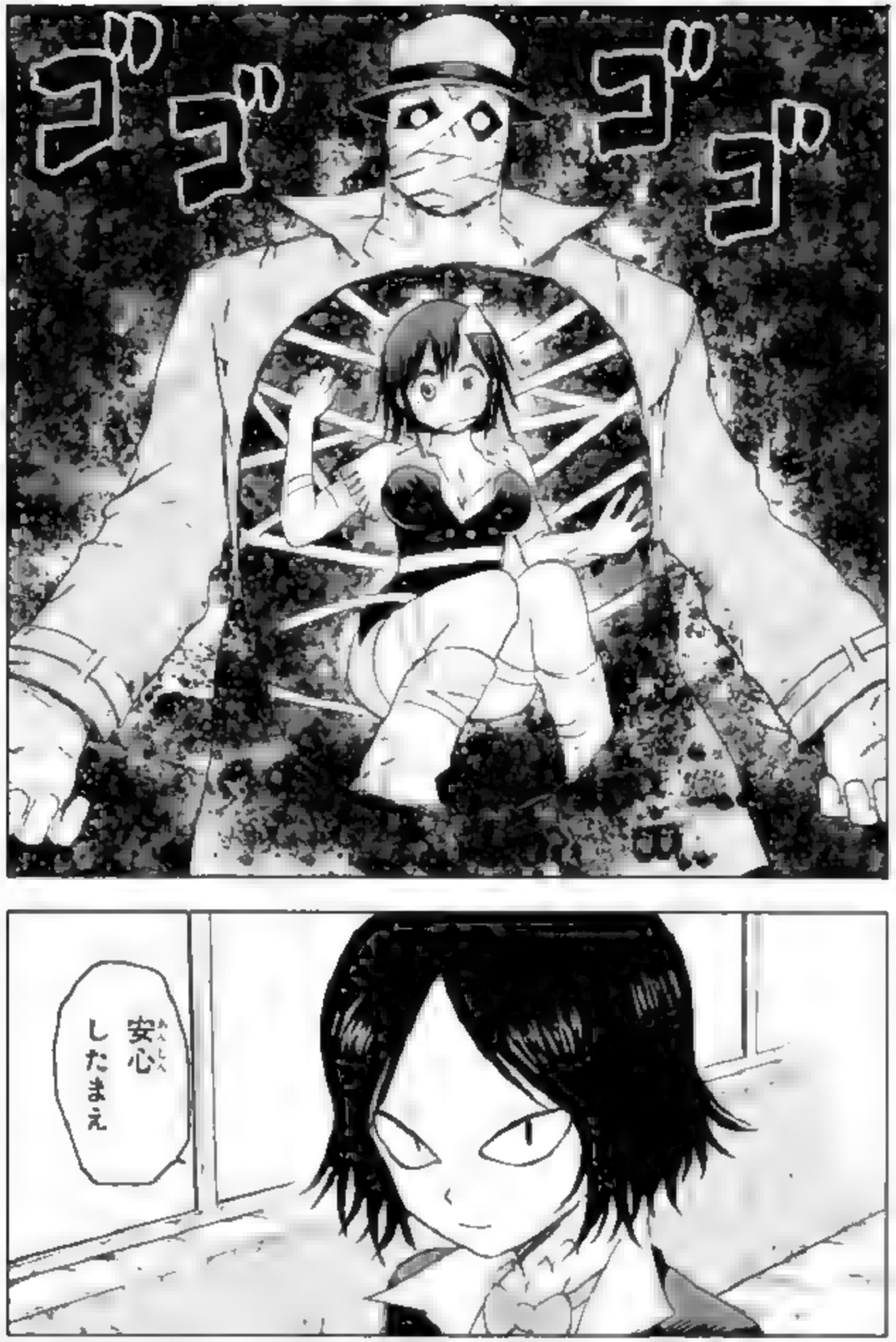
吸血鬼の傷治る力
遅くさせる効果あったよ

シュバッ

ドサッ

あの…
……ここ……どこですか？

チクショウ……
痛え……
……ドコ行った
冬実…
スタズ…さん……


ゴゴ
ゴゴ
安心したまえ

しばらくその
中で大人しく
してくれれば
無事に帰して
やるのである

吸血鬼を
始末した後にな

…そんな…

帰れなくていいです！

出して下さい！！

ハッハッハッ

泣き喚いても
奴には届かない
のであるぞ

お

動き出したぞ サム

ああ見えているで
ござる

どうやらまた娘を
探してる様でござるな

縄で縛って
後ろを見ずに

自分だけつっ走った
結果がまたこれだ…

娘を見て
ヒットアンドアウェイと
しゃれ込んでござるか

何も変わって
ねえ…

何がダーク
ヒーローだ…

バキッ

ガ!!!!

ガ!!!!

ク…

ガ!!!!

テメエエエエ!!

逃がすか!!

!!

ドシュッ

ヨカタ

あたたアル

再見

……

ジョワ

バキ

ボタボタ

ガクッ

オエ

ハァ

ハァ

ハァ

ボタボタ

カラン

ふざけんな…

魔力が

消耗しすぎた

血が…

足り…ねぇ

ヤベェ…

このままじゃガチで死ぬ！

あ～げねぇ…

俺……

こんな帰かったのかよ

マジで…

何か思いのほか弱てるアルね

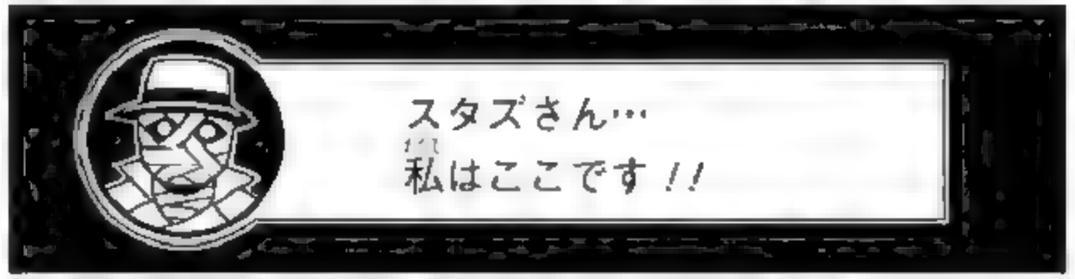
もうトドメさすか？

……

そうでござるな…

何がダークヒーローだよ…

ヴァンパイアなんて
名前だけでたいした事
なかったアルね
なぁに我々の
チームワークの前では
誰でもこんなもので
ござろう：


スタズさん…
私はここです!!

冬実……

プス
プス

シュウ…

え…

な…

は…

む…

ななな何であるか今のは!?

ランドの頭が急にクラッカーのように……

プス

プス

ゆっさゆっさ

…って ランド? おいランド?

ためだラントのチャットが切れた 気を失ってる

いったい何が起きたでござるかゥ

こっちまで音が聞こえてきたアル!!

落ち着いて そっちまで音が届いたって 奴は

すごいスピードでこちらに向かって来ているのであるぞ!?

バカな…!!

さっきまで瀕死だったはずアル!!

ドドドド

どこにそんな力が…

早く…場所を移るんだ シャム！

で でもランドが・

ガッシャ

わかったぜ……

何が
わかったアルか？
さあ？
きっと
己の死でござろう

シュル…
……
その通りだ……

は…刃が
抜けない
アル…
グッ
傷口を魔力で
塞ぎ、
必要最低限の
力でここまで
来たのか。
おかげで
わかった…
ズズズ
俺の力は
補完するために
あり
バッ
!
こいつ……
!
俺は限界
だ…
な…
!
グッ…
このままじゃ
死ぬ……
だから処置を
した…

ゴゴゴゴ

捕食するためにある

ち…力が…

吸い取られ…れ

アイヤー——

パッ

そしてこの手は

目の前の敵を薙ぎ払うためにあるんじゃねぇ

大事なもんを

二度と取らせねえためにある手だったんだ……

う…

うう…

ユー
アンダスタン？

キリ…

俺の大事なもんを

ドコに隠した？

そこです

ちょっ・シャム!?

鬼ごっこってものを
知らないのか!?
すべて台無しになるぞ

何すんなり教えてるんだよ！

そ、その
中にですね・

ここだよ

う…う・

うるさい
黙っていろ!!

あ

あ？

ちっ違うんです今のは・

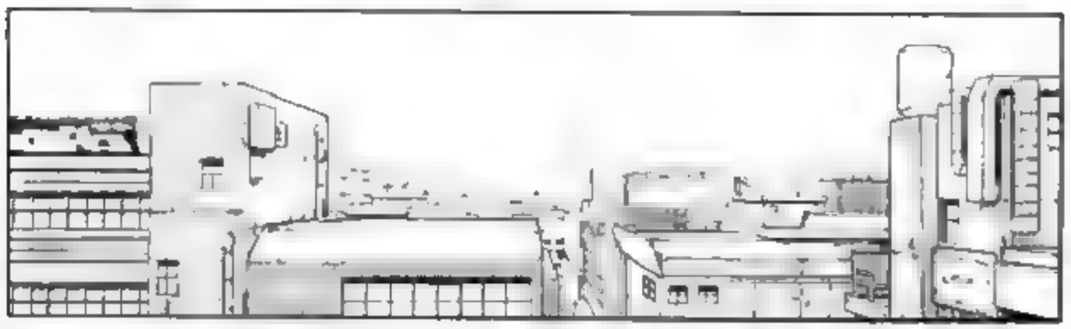
何だテメェ…

いや・本当
ごめんにやさい

……

ようこそ

もちろんである



スタズさん…！
おい銃口向けんな
無事だったんですね
リーダー……
……
今リーダーって言うな……
チームの主力が全滅したのだぞ
これ以上我慢にどうしろと言うのだ
ピク
いやその主力の一人たけど生きてるよ
弱ってるけどチャットがまた鳴っている
僕が言いたいのはねリーダ
これで終わりじゃないよね？って事だよ
たからさっきのリーダーのごめんにゃさいも…人共聞いたはずだよ
……
だから何が言いたいのだ!!

ヒュオオオオ

……

ゴッホン

第34話♠上陸、ことわざ博士

ドクン
ドクン

ズズズズ
ドクン
ドクン

第34話♠
上陸、ことわざ博士

では
こちらの体は
もう必要ない
答だが…

何故処分
しない

……

気に入ってた
らしくてな…

とっておいて
くれって言われち
まったんだよ…

アキムはこの中に
心臓が入れば

新しい体に
生まれ変われると
思っていた

だが…

実際には違うん
だろ？

成功
したか……

……そうだな

あの胸にある部屋に入ってしまうと魔力が外に出られない…

つまりアキムは体を乗っ取る事はおろか思考する事すら出来ず…

ただただあの中で心臓を動かし続ける「動力」となるだけだ

この事はアキムに知られる訳にはいかなかったんでね

黙っててすまない

……

いいや願ったり叶ったりさ…

おかげで身近な脅威が去ってくれた

それでこの抜け殻をディスプレイする余裕が出来たわけか…

まあ……いいだろう

それじゃあ次の段階に移ろう

ピピピ

プシュー

それは？

分解機にかけ抽出しておいた魔力サンプルだ

適任者

のね

……そいつをアキムの心臓で循環させる訳か…

俺はてっきりあんたのを使うのかと思ってたぜ…

で…誰なんだ？その適任者って…

へえ…

なかなか居心地のいい乗り物じゃねえかこれ

……

そうでしょうとも……

我々のアシトにまで上がりこんだ挙句にくつろいでフルーツ食べてればそりゃあ

何だラメエ文句とかあっちゃうの？

これはあの場で僕等を生かしてくれて本当にありがとうフルーツじゃないの？

くっ、調子に乗りおって

そ その通りであります

では ごゆっくり…

ちょっとスタズさんどういうつもりですか

どういうつもりって…

何で殺さなかったのかって事か？

違いますよ！

バタン

他の者の様子はどうであるか？

……

うーんとりあえず大丈夫だけど…

ミシッ

あの吸血鬼が元気になっちゃう程の魔力を吸われたからね

回復まではしばらくかかりそうだよ

……じゃあこれからとうするのであるか…？

とりあえず消化しない内に

毛玉吐いたら？

おおおそうか

我輩とした事が危うい危うい

ツケ〜〜〜ッツケ〜〜〜ッ

オエーッ

ケロン

次の時まで大事にとっといてね…それ

奴が僕等の船に乗ってるって事は逆に言えば監視できるって事だ…

なら まだチャンスは残ってる…… 時間を稼ごう…

そうだな…それは例えるなら「ピンチはチャンス」っていう

ことわざがあてはまる話なんだが…

思いっきり慣文字ですけど…

それを言うなら「災いを転じて福となす」…とか

何だお前…ことわざ博士かw

ついにキャラがつかれた様

そんな広がりいらないですから…

話の続きです

確かにあの人達に狙われたのはピンチでわかるんですけど

そんな人達と一緒に空の旅に出る事の何がチャンスなんですか？

これで兄貴の所に行けるからだ

……早く着くって事ですか？

ああ…圧倒的にな

一般人が殿堂に行くには審査がいるんだよ

魔力の強さから種族…目的…何から何まで

ケツの穴までくまなく調べられる

そんでそれに何とか俺は通れたとしても

お前は100%無理だ

え…じゃあ

だから普通に入ろうとは元から考えてなかった

それって…つまり…

不法侵入

俺達はしようとしてたんだよ

そこにこの飛行船だ…

こういうのをことわざで何て言う？

……

パクッ

「渡りに船」

ゴゴゴゴゴ

流石ことわざ博士ノ

でもそれ結局「危ない橋を渡る」んですよね!?

もぐもぐ

おいおいノリノリだな…

ピコーン

こちらポイントN-1

レーダーに反応がありました

ピコン

SEXY

正体はわかりませんが招待してませんよね？

招かれざる客？

OKOKウェルカ～～～～ム

ゴゴゴゴ

いつでも俺のライトハンドクラブが

お出迎えしてやるぜぇ……

ビービービー

おい何事であるのだ!?

この音は!?

飛行禁止区域の探査網に引っかかっただけだよ

ええ!? それはまずいのでは…!?

ああまずいよ

だけどわざと入ったんだ

……?

シャム……校を目的地に無事送ってどうするの

それじゃ逃げられたも同然しゃないか

だからこれを口実に引き返して時間を稼ぐんだよ

……

なるほど……

ああ実は諸君等に残念な知らせがあるのだ…

これ以上の飛行が困難になってしまってね……

おい何の騒ぎだよこれ

……そっか

じゃあこの辺までで
いいや

……え？

い……いやいやいや!!
ここは無理せず
引き返して

態勢を
立て直した
方が…

何でだよ

何でだよって
その方が
絶対いいし！

な…なぁロイ？

……

ここから
崖までざっと
3kmくらいか…

しかも今出ていったら
確実に攻撃を
受けるし…

空を飛べるなら
まだしも…

君…飛べない
だろ？

絶対無理
だよ…？

でもとうしてもって
言うなら
ちょっと待ってて

いいもの
あげるから…

ピーッ
ピーッ

オオオオオ

カシン
カシン

はいこちら
探査室

SEXY

おい
どうなってん
だよお

オオオオ

一向に近づいて来ねぇじゃねえかよ!!

そうですねしゃあもうその距離でやっちゃっていいんしゃないですかね

ギリ俺のライトハンドクラブの間合い外なんだよぉ!!

もちょっと気持ち近づくように無線でも何でもとばせ

あ――

それは私の仕事じゃないので

通信室の奴に言って下さい

……

サイズはどう?

ん、ぁぁピッタリだけとぉ…

何でスニーカーくれたの?

それはただのスニーカーじゃないのさ…

トン トン

Bボタン押しながらだと移動速度が上がんのか?

いや…

足をバタバタさせると

少しの間空中に浮いてられるんだ…

ああそっち?

へムー

すげぇな…ナイキがそんなん作ってんのか…

まぁこっちのブーツよりかは飛び易いでしょ…

ああサンキュー

んしゃ行ってくるわ

いってらっしゃーい

……

…おい…おいロイ!?

話が違うではないか…行かしてしまっては……

しょうがないだろ……

オオオオ

相手が予想以上の馬鹿だったんだから…

オオ

心配すんな 冬実

もう離したり しねぇからよ…

じゃあ何だ!? あの空を飛べる スニーカーというのは

我輩も 欲しかったぞ!!

何言ってんの

あんなのウソに 決まってるでしょ

カパ

ピコン

あれは GPS付き のスニーカーだよ

これであいつらが 魔界に落ちても 位置がつかめる

ガッ

!

ちょ… スタズさん?

!!!

何ですか…これ…

こんだけガッチリつかんどけば安心だろ

いや…安心っていうかいうか…何ていうかわからないですけど…

じゃあことわざで言えよ

……

「足下から鳥が立つ」感じです…

おおそうだな…まさに俺は今鳥になろうとしている…

…いえ…身近な所から意外な事が起きたって意味なんですけど……

ちょちょちょ待って下さい!!

ダッ

まだ心の準備が…!!

ああああ

「馬の耳に念仏」!!

ダダダ

ギュン

きゃあああああああ…

来た……

来た来た来た来たぁ!!

ビキ

バキッ

ウェルカ――ム!!

殿堂魔界(でんどうまかい)にようこそ!!

あーあ……

やっぱり見つかっちゃった…

いっただっき

マ――ス!!

ポイ――ン

ゴオッ

ズ…

ト…

なっ

避けただと!?

しかし…

ﾌｫﾝ

次は
どうかなぁ!?

ガロロロ

丁度いいや

そのまま
押してくれよ

スニーカー

ダダダダダ

最高(さいこう)お!!

……

お…

おい
ロイ…

何だあれは…

奴が自ら檻に
行っちゃいそうで
あるぞ!?

……

……どうやら

奴に自分の魔力を
コントロールする

コツを覚え
させてしまったとは
思ってたけど

僕等やっちゃった
みたいだね…

ダダダダダ

正直

こんなに
自由だとは…

……

話が
また違う
ではないか・

しょうが
ないだろ…

ドオオオン

……これで…

僕等も上陸しなきゃいけなくなっちゃったね…

……

ミシュウウゥ

そうこそ

相手が予想以上の

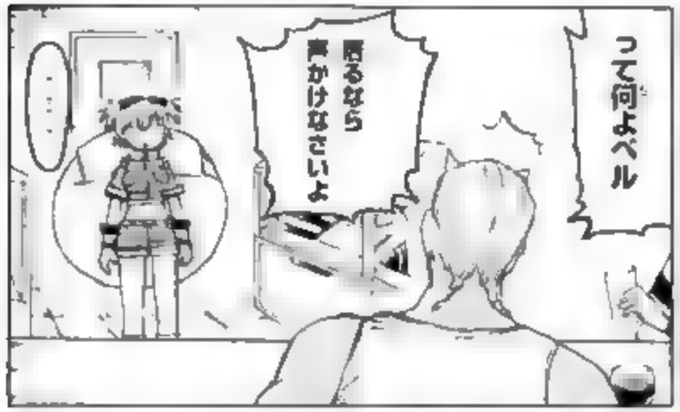
トリックスターだったんだから…

殿堂(でんどう)へ

それじゃあ私達の出会いに…

乾杯(かんぱい)～イ♡

ようこそ人間界(にんげんかい)に



こて何よベル

黙るなら声かけなさいよ

……

いや…
そっちこそ…
何(なん)でここに
居るのよ…
?
なんだよ
大福(だいふく)

ウルフ……
何でおんたがここに居んの…
いろいろあってな…
行き着いた先が人間界って訳だ
何それ…話せば長い系？
いや…
来た理由は単純だ…

第35話♠ 緊急招集殿堂魔界

イッツァ
人間界スタイル
ドーン
悪いな…この借りは必ず返すぜ
ん？
何が？
もしかして連れてって欲しいの？とは訊いたけど
連れてってあげるとは一言も言ってないんですけど
あ？
だってあんた迷子なんでしょ
私はそれが面白そうだからついて来ただけ
…テメェ…
もっとも…
あんたが探してるものが何なのかってのを教えてくれるなら
話は別だけどね…
……
やっぱりお前に頼んだ俺が馬鹿だったぜ
何よー
いーじゃん別にぃ～
クネクネ
勝手にうずいてろ
触られると私のトレジャー魂がうずいちゃうじゃないのよ～～～

えーとコンビニがあそこだろ・
で…向かいに花屋が…
無えな…
そうね
つて事は潰れて店が変わったとして…
この先のT字路…も十字路に・
おいコンビニ基準で道路を改変すんな
そもそも駅が違うっつうの
何だよ駅って
あんたマジで言ってんの?
そんなんでよく人間界来れたわね・
うっせえな…パスポートもらったんだよ

…もらった?
誰に?
審査は?
……
審査なんて無えだろ…
あるに決まってんでしょーが

一般の魔族が人間界に来るには普通適性検査と行きたい国の常識テストに合格して
最低でも3日間のマナーの講習を受けてからはじめてパスポートがもらえるんだから

それを受けずにもらえたんならよっぽどの・
あ…ああ あれな
…受けたぜもちろん
んー?
いやぁ あれが審査だったとはな…
簡単すぎてティーパーティかと思ってたぜ
そうなんだ……
まったくよ…
…で駅って何だよ

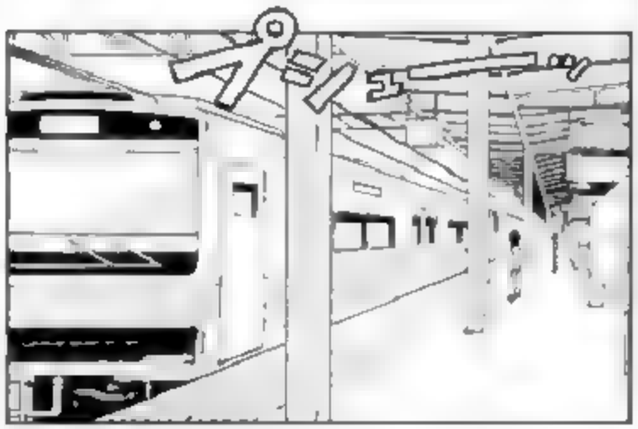
ほらほら～
どうしたの？
テスト受かったん
だから切符くらい
買えるでしょ～
……

ああ買えるぜ
ちょっと忘れちまっただけだ

ふくくくん
ってかあんた
お金持ってんの？

当たりめえだろ
ちゃんと入ってたよ
入ってた？
ほれ
……俺のサイフに

サイフって
あんた今何か
変な封筒から
出さな
かった？
こ…
これが俺の
サイフなん
だよ！



ガタンゴトン
ガタッ
……
…しかし
すげえなコレ…
クソ速ぇ…
そうね…私より
遅いけど

だったら
お前…
いーじゃん
乗ってみた
かったんだもん
え？
実は私も
乗った事
なかったんだよね
けっこー
快適じゃん

まあ私
次の駅で
降りるけどね
は？

ちょっと待てよ…

これで目的地に行くんじゃねえのか!?

きみ？私この電車がどこに行くかなんて知らないし

あんたも別に連れてって欲しくなんてなかったんでしょ？

探してる物も言わないし

何かずっと隠してるもんね

……

そんじゃ1人旅で迷子の旅を楽しんでね

ポンッ

……

チッ

ゴッ

あばよ！

わかったよ…

俺が探してんのはこいつだ

ミシュパッ

……

フォッフォッフォッ

さっさと出せばいいものを…

さてさてウルフとんはいったいとんなお宝を…

お探しなんどすかねぇ～～～

ガラッ

ゴトッ

ケイティ

ゴトッ

ん？

そいつは俺の

母親だ…

……このケイティって名前？

ガタンゴトン

ガタンゴトン

ずっと自分の魔力について一人考えていた…

俺はあれから

自分の魔力って…

狼男の力の事？

ギィコ ギィコ

そっちじゃねぇ

それを邪魔してる雑種な部分の方だ…

キャー キャー

つまりこのトヤンキー女の持つ魔力…

その正体を知りたい

ふーん

ギィコ

でも何で人間界に居るってわかったの？

ギィコ

手紙が来たんだよ…

でも
俺は中途半端な
狼男のままじゃ
超えられねぇ・

ハードルの
向こう側に
行かなくちゃ
ならねぇんだ

B·T·R
PRISON

だから
悪いな・

その方法が
見つかるまで
俺はもう
狼男に頼るのは
やめたんだ

そうか

見たかった
のになぁ…

でも
ウルフさん…

ザッ

ザッ

バサッ

バサッ

ゴォォォ

ゴォォォ

グゥ…

ザッ

ザッ

まっ・

待て…

これで…

このナワバリも
俺の領土だ…

お前
西の狼だろ?

何故変身して
戦わなかった…

俺しゃその必要も
なかったってのが
かよ・

いいや 本前
なかなか強かったぜ・

バサッ

バサッ

その狼男からは…

あなたに
お使いが
きてますよ
クックックノ…

79日め

…何だ
お前…

キレーな
してんな…

私
配達郵便のおて
こさしまして

あなた宛にこの
手紙を届けに
来たんですよ
クックックッ

手紙…？

勝手ふ開しな
事からたよ

ですから今
申しつけた通り

狼男…
つまり
あなたの
お父様…

殿堂魔界王
ウルノダディ様
ございます

な…!?

お前…
へ…なんて…

ですから

あ

ここに
ハンコかサイン
お願い
できますか
クノクノクノ

…それで

中に入って
いたのは地図と…
パスポート…金…
写真…それから
殿堂チケット…

手紙って言ってたが

手紙らしい手紙はこの紙切れ一枚だけだった

見せて

カサ…

……

ようガキんちょ…
元気でやってるか？
オレだ…お前のダディだ

随分ほったらかしちまったけど
お前に俺に会いたいか？
会いてえよな？　もし
会いたくなかったとしても
会いてえって伴で
母親を連れて
俺に会いに来いよ

「家族が自発的に
会いに来たってんなら俺も
「しょうがねえ」って特例で
一般人を宮殿に
入れてやる事が
出来るからよ

あ…でも間違っても
お前一人で来るんじゃねえぞ…？
来ても入れねえからな
必ず人間界に居る
母親を連れて
緒に来い
わかったな？

P.S.これは王の命令だ

何これ…

俺を捨てた男が初めて息子に書いた手紙だ

うん…何とも心に響く内容だったわ…

それで…？

俺はただその母親ってのに会って確かめたいだけだ…

あんた会いに行くわけ？

行くわけねーだろ

そのために人間界に来た…もうこれだけ話せば十分だろ

…わかったわよ

約束しちゃったし連れてってあげる

何カッコつけてんのよ

悪いな…お前好みのお宝話じゃなくて

それがこれから子供に混じって
ジャングルジムに飛び込む男の台詞？

ジャ

コンビニの前に花屋…T字路…
確かにこの辺だ
？
あんコラ危ないから入ってこないの

よっと…

先生またねー
またねー
お気いつけて帰れよ

正門閉めるぞー
ええ!?まだ時間早いじゃん
私が早く帰りてーんだよ

何だよ先生来近ぇんだろ!
いいじゃねーかよ
お前等も早く帰って野球でも観ろ
それ自分が観たいんだろ!?

そーだよ悪いかよ
……
どしたのウルフ
流石にもう地図はわかるでしょ

いいや…
もう地図は必要無ぇ

見つけた

ピラ…

イイティ

……

これ
あんただろ

……

ガッ

お？

目でわかったぜ

上オ等オだゴラァ!!

何がだよ!?

ゴーッ

そろそろ来る頃だと
思ってたぜ
使いっパシリの犬っころ
がよお!!

何の事だってやがんだ
俺は犬じゃねえ!!

じゃあ何だってんだよ

狼だ!?

狼はテメエの
飼い主だろーが!!

俺も狼だっつってんだよ!!

はあ!?

間違いない

そう言われりゃ
ちょっと似てるじゃねえか

だから
ほってんだろーが!!

親子だわ…

いやービックリした!!

まさか息子とこんな形で再会出来るとはねぇ

ぷは

こんなに大きくなっちゃってー

いやそうでもないか

うるせえさわんな!

ワシャワシャ

しかもこんな可愛い彼女まで連れて来ちゃってさー

いや…私は…

私がこの子を産んだのもちょうどあなたくらいの歳でさ…

若かったねー

じゃあ俺を捨てたのも…

若気の至りってやつかよ

バカ 違えよ…

私はお前を捨てたくて捨てたんじゃない…

一つっても信じてもらえねぇか…

どっちだっていいぜそんな事

ポツポツ

別に恨んでもねぇし…

……

あの…やっぱ私邪魔しちゃ悪いんで…

外に居ようかなーなんて…

電話を掛けて

待ちな

彼女かどうかは置いといても…

あなたが例の空間魔術師でしょ?

え…

何で…

話は
聞いてるよ…

てっきり
使いは一人だと
思ってたんだけどね

ダディは私の

力が欲しいん
だよ…

！

あの…全然
話が見えない
んだけど

あ？
何だ聞いて
ないのかい

何度も断ってたのに
まったく…

強引なトコは
変わってないね
ダディも

まさか
私の息子を
連れてくるとは
思わなかったよ

？

？

ゴオオオオ

そろそろ
だからね…

もう時間は
無い…

それは
わかってる…

でも私にはもう
どうする事も出来ん

…ちょっと待てよ

俺はその
あんたの力を
知らねぇ

ダディが
欲しがってる？
いったいとんな
力だよ

もう無ぇよ

だからもう
どうにもなんねえんだよ

……

長い
人間界生活で
魔力を生命維持に
使ってたからな

私が今持ってる
能力は英語を
教えられる事だけさ

…俺には…

あんたと
同じ力がある…

でもその使い方を
知らねぇ…

カチ

シュボッ

フゥ

教えて欲しい
のか？

そのために
来た

そうか…

じゃあ
交換条件だ

オオオオオ

私の代わりに
お前が魔堂魔界に
行け…

そして今…

そこで起ころうとしている事態…

魔界の危機…

それを救う漢になれ…

♠つづく♠

ToBe Continued.

魔界に生きる
今回は魔界の殺し屋集団
チームフィアレスの活動にスポットをあてたいと思います
こちらはリーダーのシャムキッドさん
いかん…このままではいかんぞ!!
何やら必死に計算をしていますが…
ぬっ
このままでは我がチーム存続の危機であるぞ!!
どうやら資金の底がついてしまいそうらしくて
だいたい諸経費は無駄遣いが多すぎるのだ!
メンバーを集めて緊急予算会議を開く模様です
これからいるものといらないものをきっちり査定してやる!!

ナイトドラゴンド

このスニーカーは
ヴィンテージ物と
いうやつでござる故
なかなか
手に入らない品で…

だから何であるのだ！一度も
はいている所を
見た事がない
であるぞ!?

ハッハッハッ当然…
履いてしまったら
価値が下がって
しまうでござるよ

そんなものを
共有財産で
買うんでない!!

このラーメンに
何の文句
アルか？

…確かに
そのインスタント
麺はおいしいと
好評であったが…

そんなに
食べれないで
あろう

オイシーなら
食べれるアル

……

……いや

その帽子新しくしたの
我輩わからなかったし…
何個同じの持ってるの？

どうやら
かなり無駄遣いが
多いみたいです

まったくみんな
好き勝手に
いらない物ばかり
買っちゃって…

これでは
お金が
足りなくなるのも
納得であるな…

……

でも
一番お金遣ってるのは
リーダーだよね

いったい何に
浪費してると
いうのだ!?

この飛行船
だよ…

燃料代は
馬鹿にならない
メンテナンスにも
相当お金
かかってるよ

それは…皆の
アジトなんだから
しょうがないであろう

別に飛んでる
必要ないじゃない

うわ！
元も子もない!!

良いではないか
我輩は高い所が
好きなのだ!!

わかってるよ…
だから皆何も
言わないんだ

リーダーが
好きな物に
お金を使う事にね…

ハッ

…皆…

…そうか…

我輩は自分の
好きな物にお金を
かけておきながら…

皆が好きで買った
物を理解しようとも
せず…頭ごなしに
いらない物などと…

BAD！

我輩が
悪かった！

これからは
我輩の小遣いを
皆の為全に
あてるから
許してくれ！

わ～

そんな…
いいでござるよ

ちょろい……

皆リーダー
の扱いに
相当慣れて
いるのでした

カタカタ

ちなみに…

小型の
GPSが…

リーダーが
迷子にならない様に
買っとくか…

彼はチームの
ためにしか物を
買いません

でも
きっとそれが
彼の好きな
物なの
でしょう…

END

BOOK☆WALKER

角川コミックス・エース
ブラッドラッド(7)

著者：小玉有起

発行日：2012年9月4日
発行者：新名　新
発行所：株式会社 角川書店
©Yuuki KODAMA 2012

角川コミックス・エース
『ブラッドラッド(7)』
(2012年9月4日初版発行)に基づき制作